

NOMURA

NOMURA

デット・インベスター・プレゼンテーション

2012年3月期第1四半期 決算説明資料

野村ホールディングス株式会社

本資料は、米国会計基準による2012年3月期第1四半期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。本資料は、2011年7月29日現在のデータに基づき作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料は将来の予測等に関する情報を含む場合がありますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

目次

- エグゼクティブ・サマリー
- 2012年3月期第1四半期決算概要
- リスク・マネジメント
- 資本基盤、流動性、資金調達
- 参考資料

エグゼクティブ・サマリー

- **第1四半期はグローバルに難しい環境が続くなかで前四半期比増収を確保するなど底堅いパフォーマンス**
 - 営業部門およびアセット・マネジメント部門は、厳しい市場環境にもかかわらず堅調、税前利益では前四半期比増益確保
 - ホールセール部門は、売買高の落ち込み等によって税前損失となったものの、市場が低迷するなかグローバル・マーケットは健闘

- **引き続き国内での圧倒的な地位を維持**
 - 公募投信市場シェアは首位の22%
 - その他、各プロダクトで圧倒的なマーケットシェアを維持

- **米国でのビルドアウトは順調に推移**
 - エクイティおよびインベストメントバンキング部門がけん引し、四半期ではビルドアウト開始以来、最高の収益を計上
 - ホールセール部門収益への米国の貢献度は上昇

- **強固で流動性の高いバランスシート**
 - 堅固な資本基盤、2011年6月末現在、Tier 1比率は16.2%（バーゼル2）
 - 総資産の約80%はトレーディング関連資産で構成。それ以外の低流動資産は限定的
 - 流動性プールは約720億米ドル。バランスシートの拡大に従って増加

- **規律あるフランチャイズ投資を継続しつつ、ビルドアウトフェーズから照準を定めた収益化フェーズに**
 - 低収益ビジネスの見直しを図ることにより高収益事業に再投資

- **野村土地建物を子会社化**

概要 – 2012年3月期第1四半期

| (10億円) | 2011年3月期 | | | | 2012年 3月期 | 前四 半期比 | 前年比 |
|------------------------------|----------|-------|-------|-------|--------------|-----------|-------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | | |
| 収益合計 (金融費用控除後) | 259.8 | 275.6 | 295.9 | 299.4 | 330.4 | 10% | 27% |
| 営業部門 | 111.0 | 87.8 | 97.5 | 96.2 | 94.2 | -2% | -15% |
| アセット・マネジメント部門 ¹ | 15.8 | 16.2 | 17.3 | 17.3 | 18.8 | 9% | 20% |
| ホールセール部門 | 108.6 | 163.4 | 172.2 | 186.3 | 141.2 | -24% | 30% |
| 3セグメント合計 | 235.3 | 267.3 | 286.9 | 299.9 | 254.3 | -15% | 8% |
| その他 ² | 35.1 | 13.2 | 7.2 | 2.5 | 77.4 | 30.4x | 2.2x |
| 営業目的で保有する 投資持分証券の 評価損益 | -10.6 | -5.0 | 1.7 | -3.0 | -1.3 | - | - |
| 金融費用以外の費用 | 253.4 | 254.0 | 268.1 | 262.0 | 296.0 | 13% | 17% |
| 税前利益 ³ | 6.5 | 21.6 | 27.8 | 37.4 | 34.4 | -8% | 5.3x |
| 3セグメント税前利益合計 | 0.6 | 34.6 | 39.4 | 53.4 | 14.6 | -73% | 24.6x |
| 純利益 ⁴ | 2.3 | 1.1 | 13.4 | 11.9 | 17.8 | 49% | 7.7x |

ハイライト

2012年3月期第1四半期

- 収益は3,304億円(前四半期比10%増、前年同期比27%増)、当期純利益⁴は178億円(前四半期比49%増、前年同期比7.7倍)
 - 3ビジネスセグメントの収益合計は2,543億円(前四半期比15%減、前年同期比8%増)
- **営業部門**
厳しい環境下、コンサルティング業務を推進しお客様のニーズに合わせて商品を提供、収益は前四半期比ほぼ横ばい
- **アセット・マネジメント部門**
投資信託への資金流入、投資顧問ビジネスの受託の増加により運用資産残高は増加
- **ホールセール部門**
グローバル・マーケットは、厳しいマクロ経済環境下、底固いパフォーマンス。インベストメント・バンキングは、国内および欧州のビジネスフローが減少

部門別収益

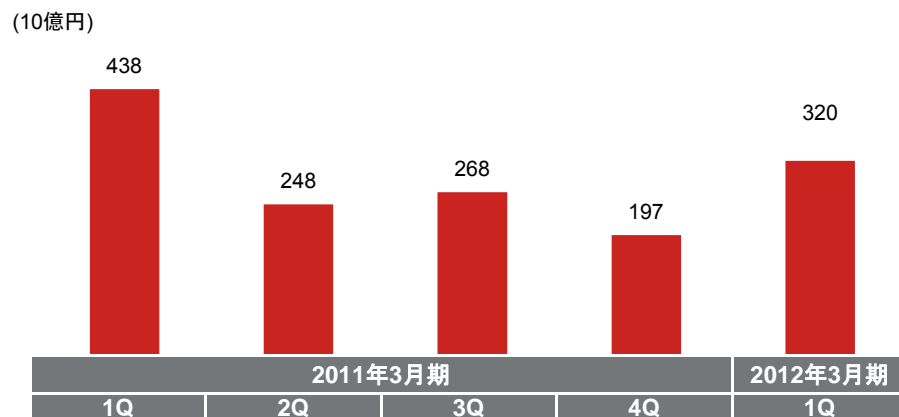


- 2011年4月より、アセット・マネジメント部門のノムラ・バンク・ルクセンブルグS.A.をその他のビジネスに統合。これに伴い、アセット・マネジメント部門とその他の損益を過去に遡り組み替え。
- 2012年3月期第1四半期の「その他」は、負債の時価評価損71億円含む
- 野村土地建物の企業統合に伴い、税前利益が243億円増加
- 野村ホールディングス株主に帰属する当期純利益

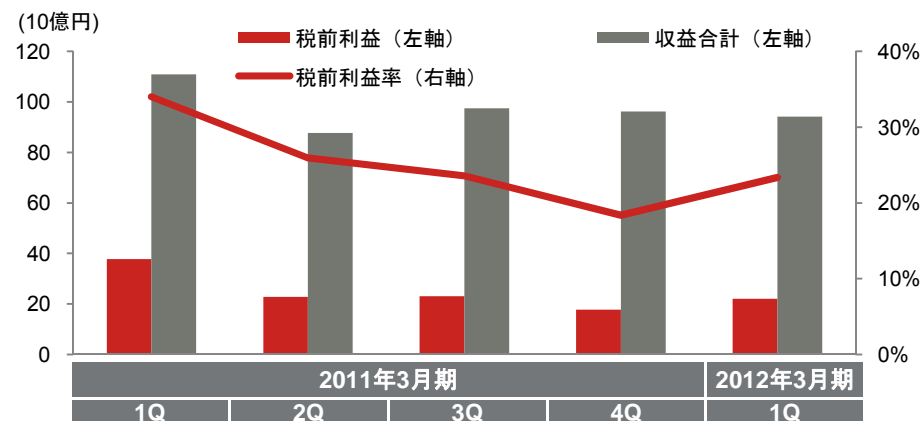
概要 – 営業部門、アセット・マネジメント部門の顧客基盤の着実な成長は長期的な業績を支えるドライバー

- 営業部門およびアセット・マネジメント部門は、堅固な収益指標を維持しつつ、国内基盤をさらに強化

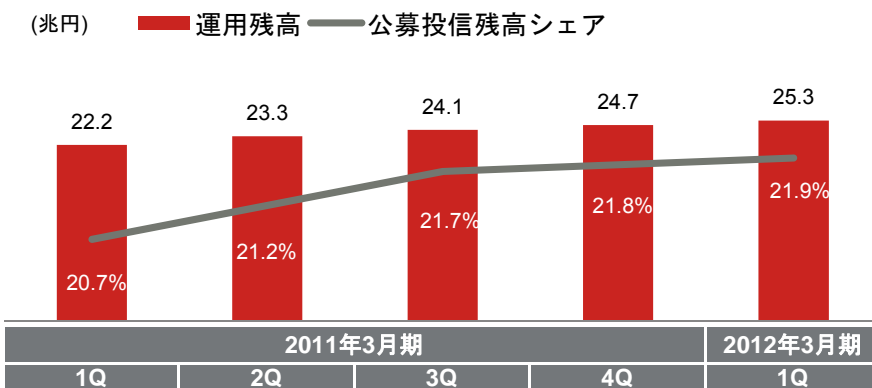
投信純増額



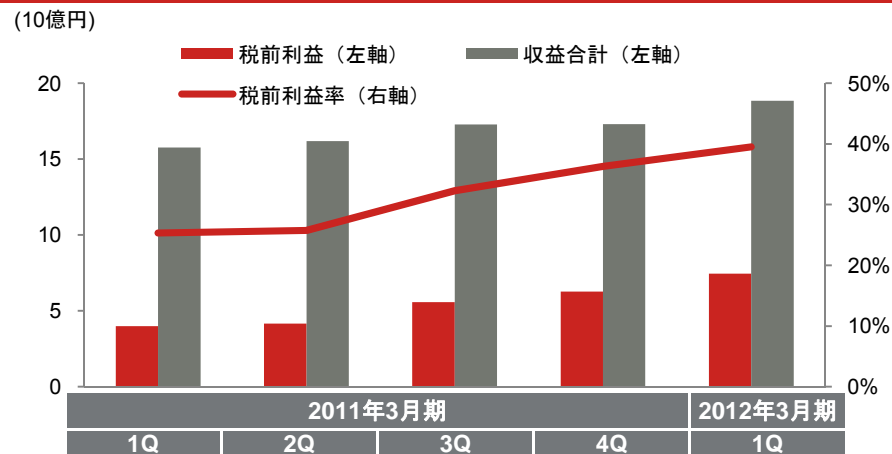
営業部門収益指標推移



運用資産残高と公募投信シェア^{1,2}



アセット・マネジメント部門収益指標推移

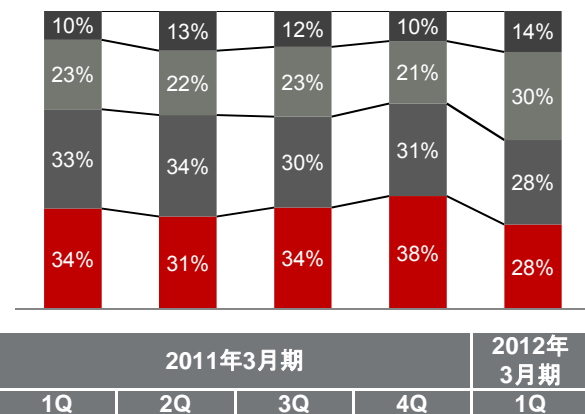
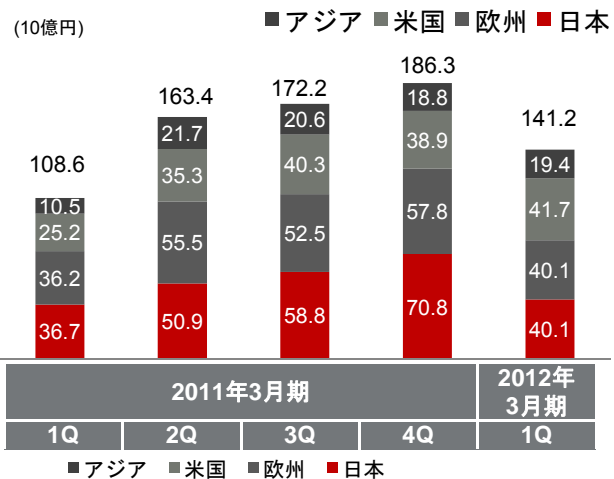


1. 野村アセットマネジメント単体
2. 投資信託協会資料から作成

概要 – 米国ビジネスの伸長がホールセール部門収益の多様化・安定化に寄与

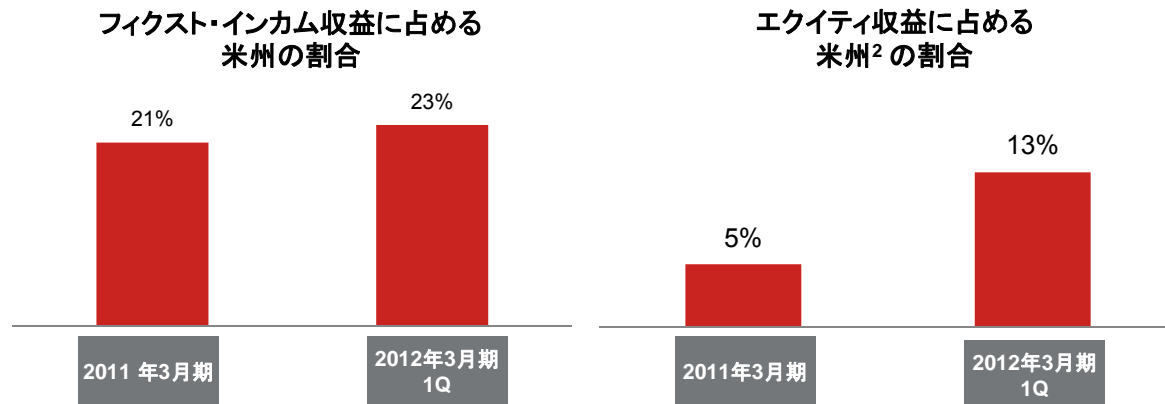
- ビルドアウト開始以来四半期ベースで最高の収益を確保、ホールセール部門収益への米国の貢献度は上昇
- フィクスト・インカムの強みを活かしつつ、エクイティとインベストメント・バンキングビジネスが収益を多様化

ホールセール部門地域別収益¹



1. 四捨五入等により合計値は必ずしも一致しない
2. インスティテュート除く
3. Collateralized Mortgage Obligations
4. MBS Clearing Corporation; Monthly rankings by volume: 4月⇒8位、5月⇒8位、6月⇒10位
5. ユーロマネー誌

米州の収益貢献度



拡大する米州でのシェア・プレゼンス

フィクスト・インカム

- 米国におけるCMO³引受で10位を維持(1Qのマーケットシェアは4.2%)
- 1Qのモーゲージ担保証券⁴取引ランキングでトップ10入り
- 米国国債のプライマリー・ディーラーでシェア4.1%
- 米国でのプレゼンス拡大に伴い、為替ビジネス・ランキングでグローバル14位と、前年の18位から上昇⁵
- 第三者機関による顧客認知度調査で米国は22%と、前年の8%から躍進

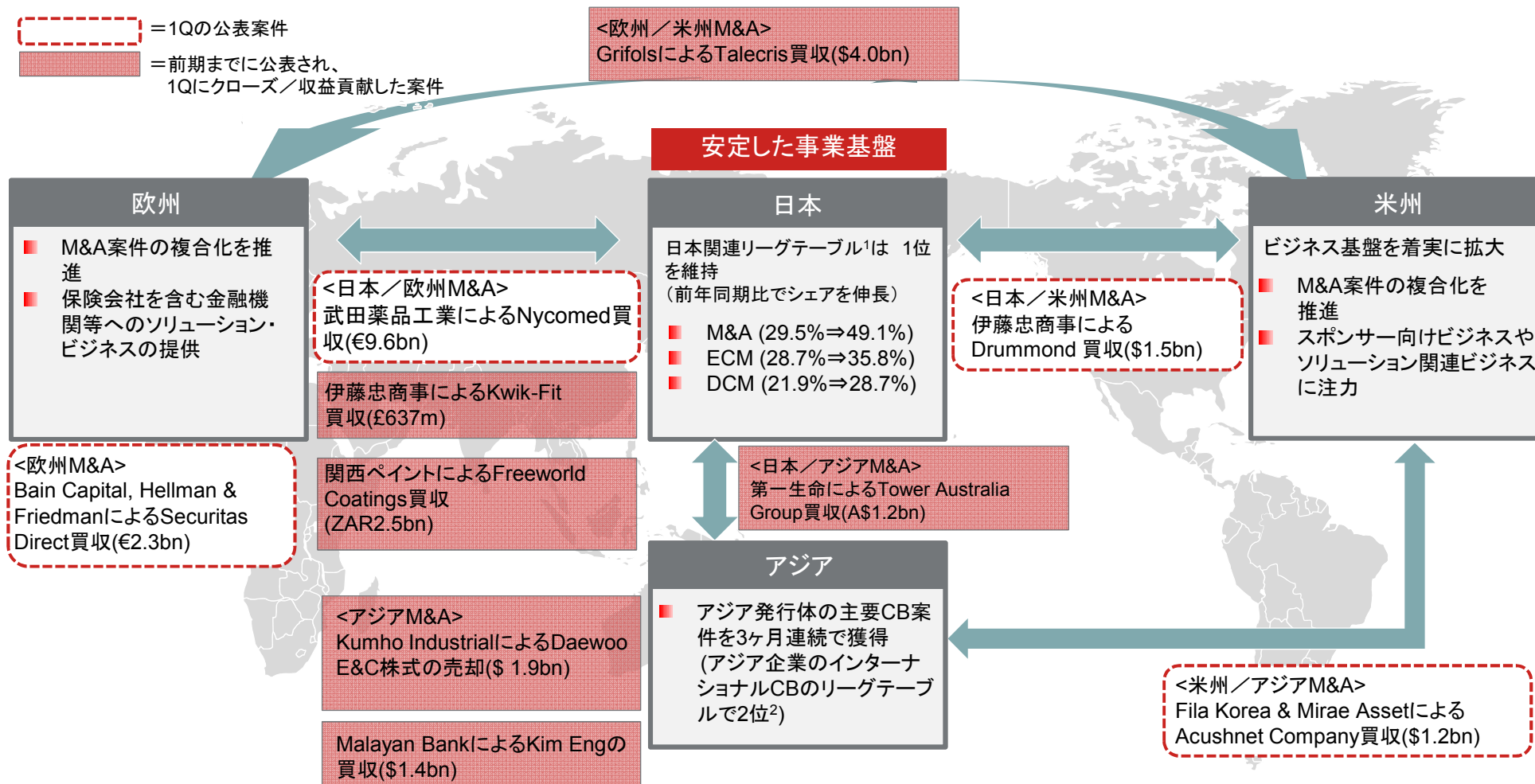
エクイティ

- 2010年10月にキャッシュビジネスを本格立ち上げ(セールス・トレーディング・リサーチ)、NYSE・NASDAQでのマーケットシェア上昇
- デリバティブも顧客ビジネスを拡大して、着実に収益貢献
- 第三者機関の評価で、以下ビジネスラインが2四半期連続トップ10入り

| | ランキング | 1Q シェア | 4Q シェア |
|------------|-------|--------|--------|
| プログラム・トレード | #5 ←9 | 7.4% | 5.6% |
| CB | #7 ←7 | 7.0% | 5.2% |
| 上場オプション | #8 ←9 | 6.4% | 5.7% |

概要 – インベストメント・バンキング：収益の多様化が進展

海外ビジネスの拡大による収益の多様化



(1) 出所:M&A、ECMはトムソン・ロイター、DCMはトムソン・ディールウォッチ (2011年1月-6月)
 M&Aは不動産案件を含む、DCMは自社債含む普通社債

(2) 出所:トムソン・ロイター(2011年4月-6月)

部門概況 — 営業部門

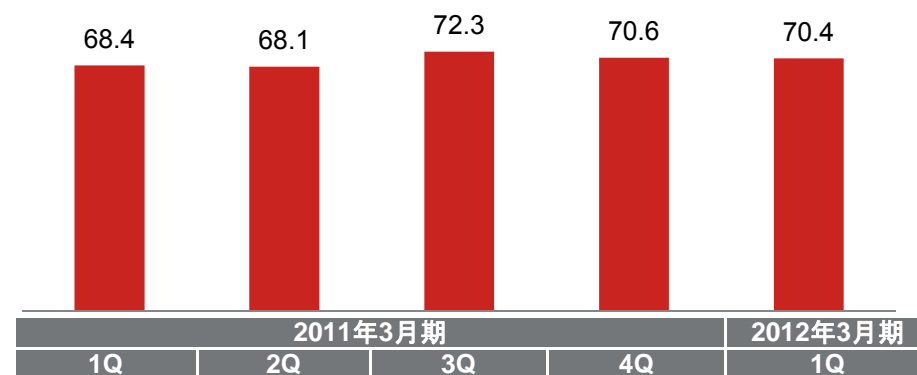
- 厳しいマーケット環境下においても、投信をはじめ、外債や保険商品などの商品を販売し、資金流入が継続
- コンサルティング営業を推進し、お客様のニーズに合わせた商品を提供することで、顧客資産も8,473億円の純増

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

| (10億円) | 2011年3月期 | | | | 2012年3月期 | | |
|-------------------|----------|------|------|------|----------|-------|-------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 前四半期比 | 前年同期比 |
| 収益合計 (金融費用控除後) | 111.0 | 87.8 | 97.5 | 96.2 | 94.2 | -2% | -15% |
| 金融費用以外の費用 | 73.2 | 65.0 | 74.5 | 78.6 | 72.2 | -8% | -1% |
| 税前利益/損失 | 37.7 | 22.8 | 23.0 | 17.7 | 22.0 | 25% | -42% |

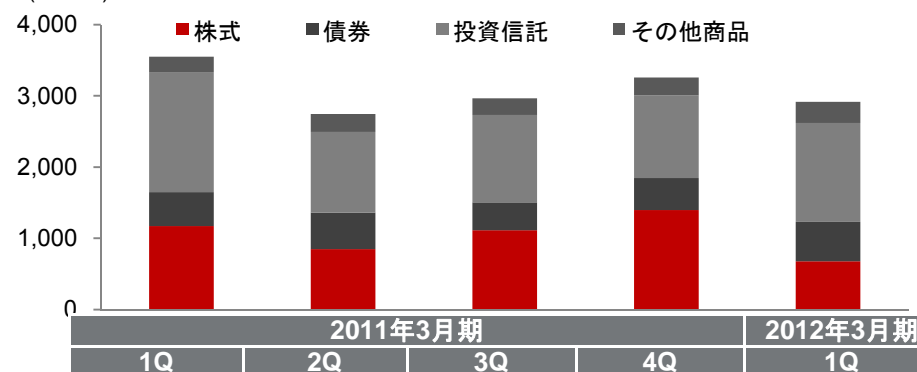
顧客資産残高

(兆円)



総募集買付額

(10億円)



ハイライト

- 収益942億円(前四半期比2%減、前年同期比15%減)
- 税前利益:220億円(前四半期比25%増、前年同期比42%減)
- 顧客基盤
 - 顧客資産残高 70.4兆円
 - 残あり顧客口座数 494万口座
 - 顧客資産純増 8,473億円
- 主な投信販売
 - ノムラ・グローバル・トレンド 2,006億円
 - 野村グローバル・ハイ・イールド債券投信 1,408億円
 - ノムラグローバルCB投信 1,378億円
 - 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信 1,281億円

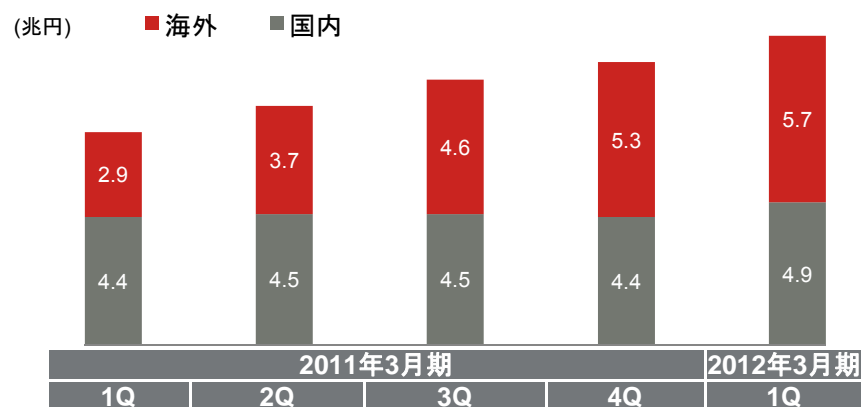
部門概況 — アセット・マネジメント部門

- 運用資産残高が投資信託、海外での投資顧問ビジネスのマンデート獲得などビジネス拡大に伴い4期連続増加

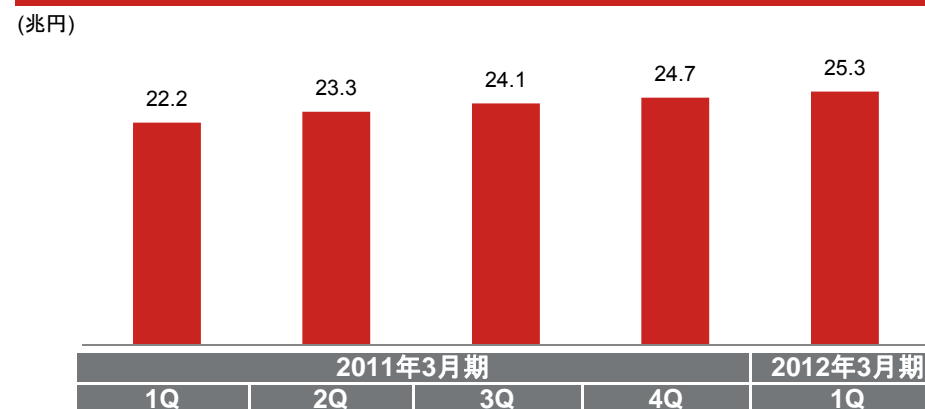
収益合計(金融費用控除後)、税前利益¹

| (10億円) | 2011年3月期 | | | | 2012年 3月期 | | |
|-------------------|----------|------|------|------|--------------|-----------|-----------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 前四 半期比 | 前年 同期比 |
| 収益合計 (金融費用控除後) | 15.8 | 16.2 | 17.3 | 17.3 | 18.8 | 9% | 20% |
| 金融費用以外の 費用 | 11.8 | 12.0 | 11.7 | 11.0 | 11.4 | 3% | -3% |
| 税前利益/損失 | 4.0 | 4.2 | 5.6 | 6.3 | 7.4 | 19% | 86% |

投資顧問契約資産残高²



運用資産残高



ハイライト

- > 収益: 188億円(前四半期比9%増、前年同期比20%増)
- > 税前利益: 74億円(前四半期比19%増、前年同期比86%増)
- > 6月末の運用資産残高は、3月末比0.6兆円増の25.3兆円
- > 投資顧問ビジネスでは、国内公的年金や、アジア・中東等の政府系機関・SWFを中心に、パフォーマンスが順調なアジア株商品等の受託が増加

1. 2011年4月より、アセット・マネジメント部門のノムラ・バンク・ルクセンブルグS.A.をその他のビジネスに統合。これに伴い、アセット・マネジメント部門の損益を過去に遡り組み替え。
 2. 日本証券投資顧問業協会への報告基準ベース

部門概況 — ホールセール部門 / グローバル・マーケット

- 顧客アクティビティが低下する厳しい環境の中、グローバル・マーケットは底固い収益

収益合計(金融費用控除後)、税前利益¹

| (10億円) | 2011年3月期 | | | | 2012年 3月期 | | |
|-------------------|----------|-------|-------|-------|--------------|-----------|-----------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 前四 半期比 | 前年 同期比 |
| 収益合計 (金融費用控除後) | 108.6 | 163.4 | 172.2 | 186.3 | 141.2 | -24% | 30% |
| 金融費用以外の 費用 | 149.8 | 155.8 | 161.4 | 156.9 | 156.1 | -1% | 4% |
| 税前利益/損失 | -41.1 | 7.6 | 10.8 | 29.4 | -14.9 | - | - |

グローバル・マーケット

| | | | | | | | |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|--------------|------|------|
| フィクスト・インカム | 41.0 | 77.8 | 71.7 | 69.4 | 67.6 | -3% | 65% |
| エクイティ | 46.3 | 55.2 | 61.5 | 64.3 | 56.7 | -12% | 22% |
| その他 | 9.2 | 11.4 | 7.8 | 3.3 | 5.8 | 77% | -37% |
| 収益合計 (金融費用控除後) | 96.4 | 144.4 | 141.0 | 137.0 | 130.1 | -5% | 35% |
| 金融費用以外の費用 | 122.8 | 123.2 | 127.8 | 125.5 | 124.3 | -1% | 1% |
| 税前利益/ 損失 | -26.3 | 21.1 | 13.2 | 11.5 | 5.7 | -50% | - |

ハイライト

ホールセール部門

- 収益: 1,412億円 (前四半期比24%減、前年同期比30%増)
- 税前損失: 149億円

グローバル・マーケット

- 収益: 1,301億円 (前四半期比5%減、前年同期比35%増)
- 税前利益: 57億円 (前四半期比50%減)
- ビジネス基盤の広がりや慎重なリスク管理により、厳しい環境下においても減収幅は小幅に留まる
- エクイティは欧州金融や中東情勢不安などによるリスク選好の低下、日本の震災後の経済動向が主要市場出来高を激減させたが、収益は567億円と前四半期比で12%減に留まる
- フィクスト・インカムでは欧州ソブリン懸念の高まりに起因する金利プロダクトの減収を、クレジットや為替プロダクトの増収が補う
- 厳しいマーケット環境にも関わらず、フィクスト・インカム、エクイティの収益は前四半期比7%減に留まる

1. 四捨五入等により合計値は必ずしも一致しない

部門概況 — ホールセール部門 / インベストメント・バンキング

- 日本では引続きリーグテーブル首位を堅持し、日本企業関連ECMでは35.8%²、M&Aでは49.1%^{2,3}のシェアに
- 米国はスポンサー向け・ビジネス、ソリューション・ビジネスなどにより収益を多様化

| インベストメント・バンキング | | | | | | | |
|----------------------------------|----------|-------|------|------|--------------|-----------|-----------|
| (10億円) | 2011年3月期 | | | | 2012年 3月期 | 前四 半期比 | 前年 同期比 |
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | | |
| インベストメント・バンキング(グロス) ¹ | 29.0 | 39.7 | 61.9 | 54.4 | 32.3 | -41% | 11% |
| その他部門等へのアロケーション | 13.2 | 18.7 | 25.6 | 25.1 | 13.4 | -47% | 1% |
| インベストメント・バンキング(ネット) | 15.8 | 21.1 | 36.2 | 29.3 | 18.9 | -35% | 20% |
| その他 | -3.6 | -2.0 | -5.1 | 20.1 | -7.7 | - | - |
| 収益合計(金融費用控除後) | 12.2 | 19.0 | 31.1 | 49.4 | 11.2 | -77% | -8% |
| 金融費用以外の費用 | 27.0 | 32.5 | 33.5 | 31.5 | 31.8 | 1% | 18% |
| 税前利益/損失 | -14.8 | -13.5 | -2.4 | 17.9 | -20.6 | - | - |

< 株式・株式関連 — 日本²>

| ランキング | ブックランナー | マーケットシェア (%) |
|-------|------------------|--------------|
| 1 | 野村 | 35.8% |
| 2 | 大和証券キャピタル・マーケット | 20.0% |
| 3 | みずほFG | 12.6% |
| 4 | バンクオブアメリカ・メリルリンチ | 8.8% |
| 5 | ゴールドマン・サックス | 8.2% |

< 日本企業が関わるM&Aアドバイザー^{2,3}>

| ランキング | アドバイザー | マーケットシェア (%) |
|-------|-------------|--------------|
| 1 | 野村 | 49.1% |
| 2 | ゴールドマン・サックス | 36.0% |
| 3 | JPモルガン | 27.7% |
| 4 | ドイツ銀行 | 25.7% |
| 5 | クレディ・スイス | 22.9% |

1. 「その他」を除くインベストメント・バンキングのグロス収益
2. 出典: トムソン・ロイター(2011年1月~6月)
3. M&Aは不動産案件含む

ハイライト

- > 収益(グロス)¹は323億円(前四半期比41%減、前年同期比11%増)
- > 税前損失: 206億円
- > **日本**
 - 震災の影響により、企業活動が一旦停滞したが、足元ではM&Aの検討を再開する企業が増加。海外発行体による日本での債券発行も活発化
 - M&Aでは高プロファイルのクロスボーダー案件のクローズ等が収益に貢献
- > **欧州**
 - 大型M&A及び買収ファイナンス等の複合化案件が収益に貢献
 - 金融機関に対する資本規制が強化される中、保険会社等へのソリューション提供からも収益を獲得
 - スポンサー向けビジネスが引続き堅調
- > **アジア**
 - クロスボーダー案件を中心にM&Aが収益に貢献
 - Lotte ShoppingのCB案件(アジアのコンシューマー/リテール・セクターでは過去最大)等を獲得し、アジアECMでのプレゼンス向上
- > **米州**
 - 収益が着実に拡大。注力するスポンサー向けビジネスや、ソリューション関連ビジネスからの収益貢献に加え、Vestar Capital等によるTriton Container買収案件などの大型M&A案件における買収ファイナンス等との複合化を実現

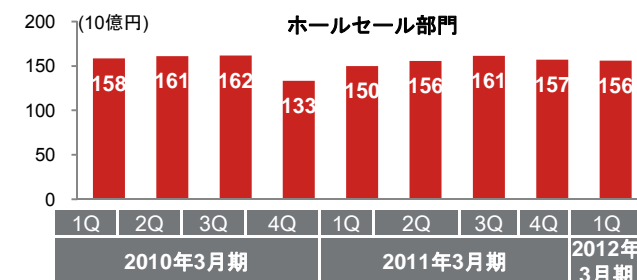
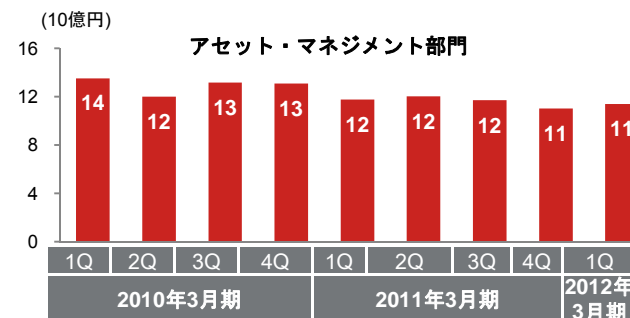
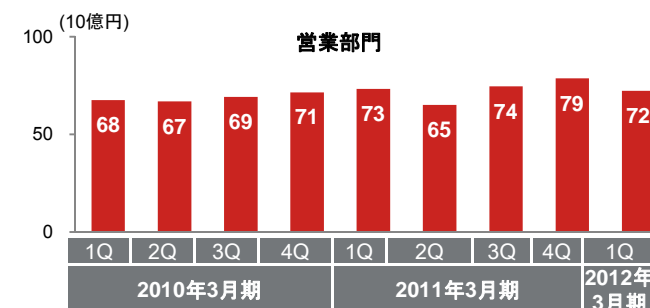
費用 - コスト管理にフォーカス

- 第1四半期の金融費用以外の費用は2,960億円と、前四半期比13%増。野村土地建物の子会社化に伴い、連結対象先が増えたことが主因
- 3ビジネスセグメントの費用は前四半期比2.8%減、引続きコスト管理に注力

金融費用以外の費用

| (10億円) | 2007年 3月期 | 2008年 3月期 | 2009年 3月期 | 2010年 3月期 | 2011年 3月期 | 2011年3月期 | | | | 2012年 3月期 | 前四 半期比 | 前年 同期比 |
|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------|--------|--------|--------|--------------|-----------|-----------|
| | | | | | | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | | | |
| 人件費 | 345.9 | 366.8 | 491.6 | 526.2 | 519.0 | 122.1 | 126.7 | 143.1 | 127.1 | 136.3 | 7% | 12% |
| 支払手数料 | 50.8 | 90.2 | 73.7 | 86.1 | 92.1 | 23.7 | 21.4 | 24.0 | 23.0 | 24.1 | 4% | 2% |
| 情報・通信関連費用 | 110.0 | 135.0 | 155.0 | 175.6 | 182.9 | 44.3 | 46.7 | 44.2 | 47.8 | 43.5 | -9% | -2% |
| 不動産関連費 | 61.3 | 64.8 | 78.5 | 87.8 | 87.8 | 22.5 | 23.1 | 20.5 | 21.7 | 20.7 | -5% | -8% |
| 事業促進費用 | 38.1 | 38.1 | 31.6 | 27.3 | 30.2 | 7.2 | 6.8 | 7.4 | 8.8 | 9.3 | 6% | 30% |
| その他 | 166.5 | 157.2 | 262.6 | 142.5 | 125.4 | 33.7 | 29.4 | 28.8 | 33.5 | 62.1 | 85% | 84% |
| 合計 | 772.6 | 852.2 | 1,092.9 | 1,045.6 | 1,037.4 | 253.4 | 254.0 | 268.1 | 262.0 | 296.0 | 13% | 17% |
| 従業員数 | 16,854 | 18,026 | 25,626 | 26,374 | 26,871 | 27,393 | 27,429 | 27,215 | 26,871 | 35,630 | 33% | 30% |

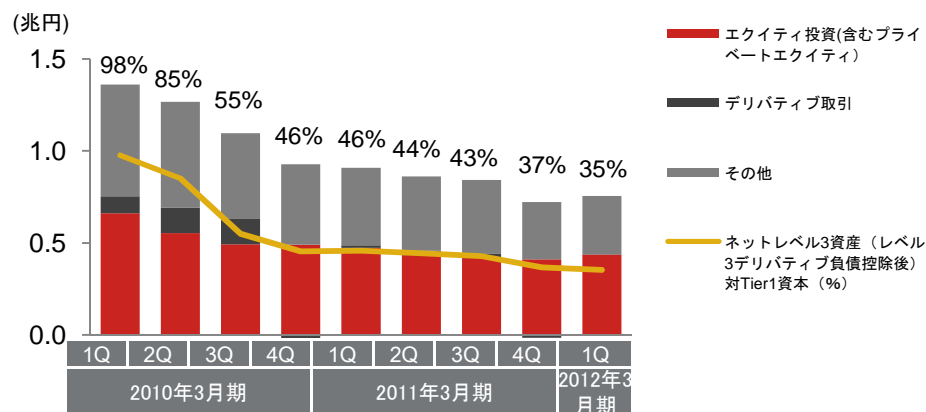
費用(ビジネスセグメント)



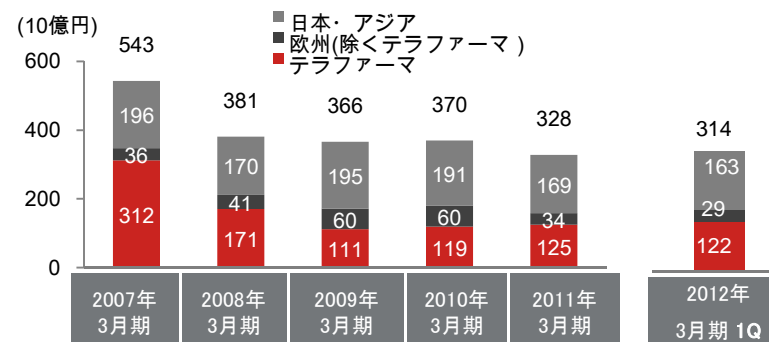
リスク・マネジメント – レベル3資産とプライベート・エクイティ投資関連残高

- “Wrong way” や“Crowded trade”といった幅広いリスクを包括的に測定し、厳格かつ積極的なリスク管理を実施
- 引続き低流動性資産を削減するなど、不透明なマクロ環境の中、第1四半期も慎重に運営

ネット・レベル3資産¹



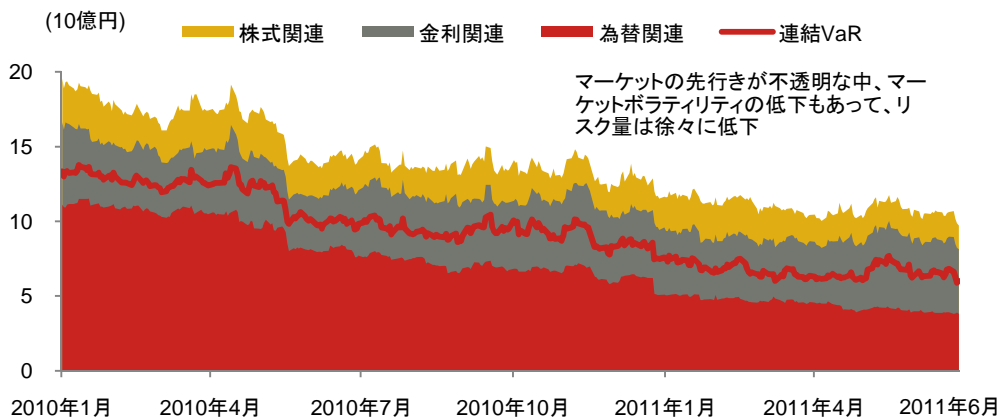
プライベート・エクイティ関連投資残高²



コメント

- リスクアペタイト: ネットレベル3資産(レベル3デリバティブ負債控除後)はTier1キャピタルの50%前後以下で管理
 - 2011年6月末: 35%
- リスクアペタイト: 引続き底流動性資産を削減(総資産に対して0.8%を占めるプライベート・エクイティ関連投資等)
 - 2年間でPE投資を15%削減
 - 今後も削減方針を継続

バリュー・アット・リスク



1. レビュー前の暫定数値。ネットレベル3資産はレベル3デリバティブ負債控除後
 2. 日本の残高は野村プリンシパル・ファイナンス、野村ファイナンシャル・パートナーズおよび野村リサーチ・アンド・アドバイザリーの合計
 欧州の残高は(テラファーマ除く)はPrivate Equity GroupおよびNomura Phase4 Ventures等の合計

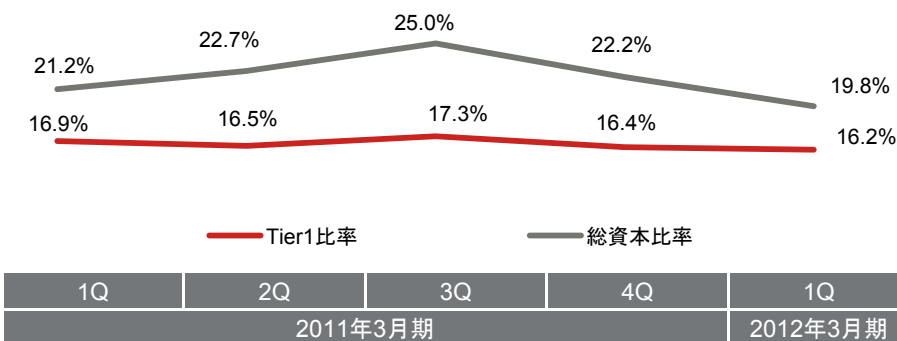
資本基盤・レバレッジ – 質の高い資本、慎重なレバレッジ運営

- 2011年6月末のTier 1 比率は16.2%
- グロスレバレッジは18.9倍、調整後レバレッジは11.6倍とトレーディング資産の増加と野村土地建物の連結に伴い幾分上昇したものの依然として保守的な水準を維持
- 顧客フローをベースとした明確でシンプルなトレーディング戦略を反映し、オフバランスシートでのコミットメントも限定的

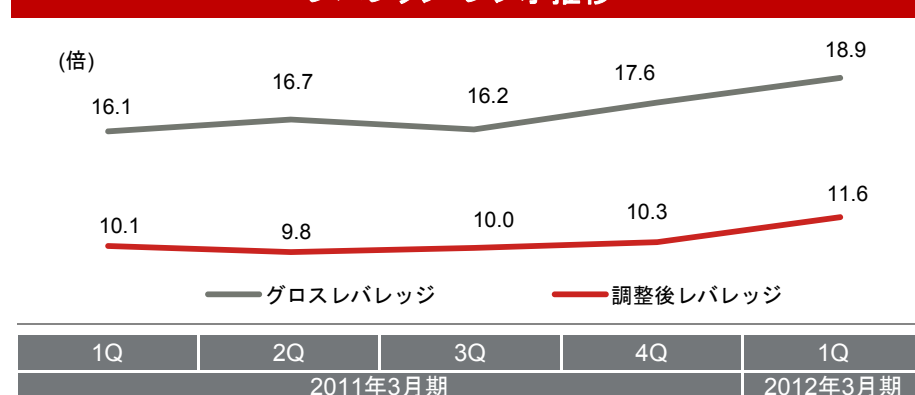
各種財務指数¹

| | | (10億円) | |
|---------------------------|--------|---------|---------|
| (速報値) | | 2011年3月 | 2011年6月 |
| | Tier 1 | 1,915 | 2,134 |
| | Tier 2 | 651 | 453 |
| | Tier 3 | 139 | 146 |
| 自己資本合計 | | 2,584 | 2,610 |
| リスク調整後資産 | | 11,629 | 13,119 |
| Tier 1 比率 | | 16.4% | 16.2% |
| Tier 1 コモン比率 ² | | 16.4% | 13.8% |
| 自己資本比率 | | 22.2% | 19.8% |

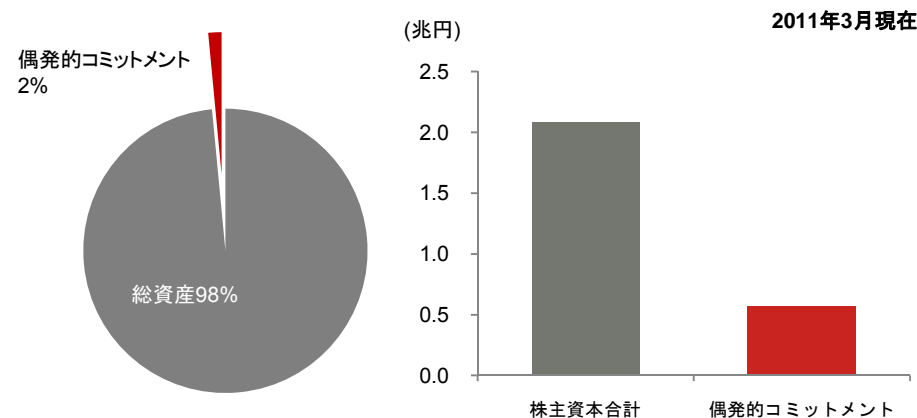
資本基盤¹



レバレッジ・レシオ推移^{1,3}



限定的な水準の偶発的コミットメント⁴



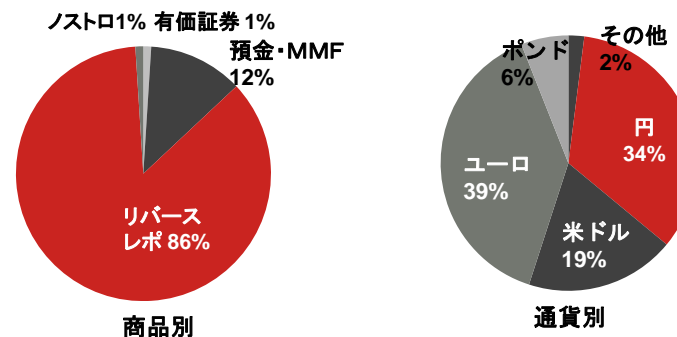
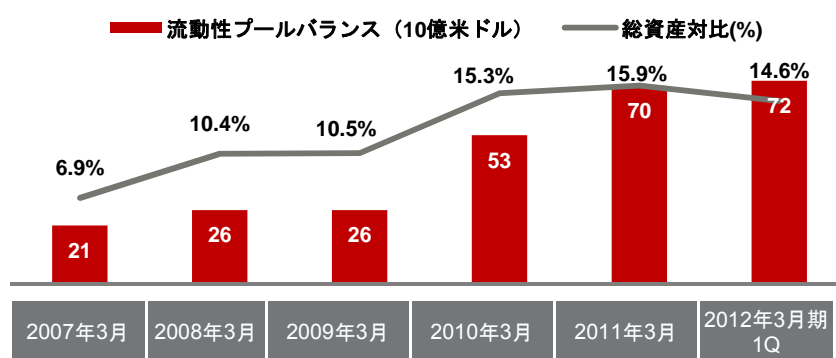
1. 暫定値
2. Tier 1 コモン: Tier 1 資本からハイブリッド資本および少数株主持分を差し引いてリスク調整資産で除した額
3. 調整後レバレッジ: 総資産の額から売戻条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、野村ホールディングス株主資本の額で除して得られる比率
4. 偶発的コミットメント: スタンバイ信用状、オペレーティングリース、キャピタルリースコミットメント、購入義務、貸出コミットメント、パートナーシップへ投資するコミットメント、等

流動性リスク管理 — 流動性プール

- 流動性リスク管理の計測ツールとしてMCO (Maximum Cumulative Outflows)モデルを活用。様々なストレスシナリオ下での資金流出を予想し、流動性リスクアピタイトに沿った流動性プールを確保
- 6月末流動性プールは約720億ドル(約5.8兆円)、MCO所要額対比で余剰(流動性プールは、モデルが計測した必要なキャッシュを上回る)
- MCOで使用されるストレスシナリオはバーゼル3を含め広くカバー
- 流動性プールの86%は換金性の高いリバースレポで米国債、JGB、ドイツ国債等で運用。他は主に銀行預金

| シナリオ | 基準 | 主な前提 |
|--|-------|---|
| Severe Market Stress: シビアなマーケットストレス/システミックな流動性ストレス下において追加的な無担保調達が出来ない状況で、資産売却等に頼らずに一定期間事業を維持 | 1年以上 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 新規無担保調達が停止 ■ 資産売却は行わない ■ 有担保調達が一部停止 ■ 各国の法制・規制による資金移動の制約 ■ 損失の発生による流動性の流出やその他固定支出の発生 ■ 偶発債務からの資金流出 |
| Acute Stress 上記に加えて、さらに自社の信用にストレスが掛る状況において一定期間事業を維持 | 1か月以上 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 上記に加えた追加的な流動性喪失 ■ 中央銀行適格担保証券以外の有担保調達不能 ■ 追加的な偶発債務からの資金流出 |

流動性プール残高¹

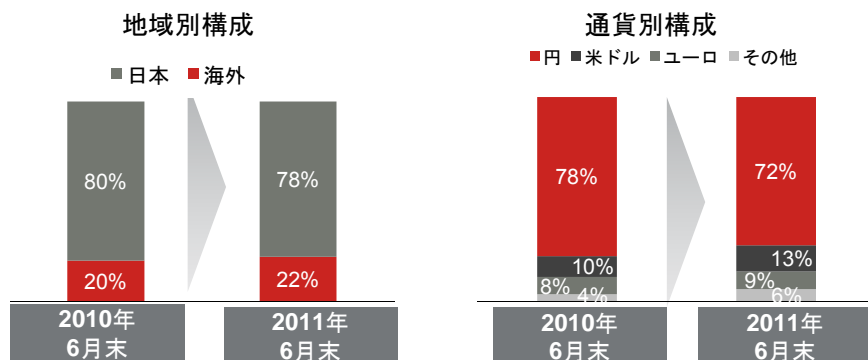


1. 流動性管理の観点から定義したもの、財務諸表の定義と異なる

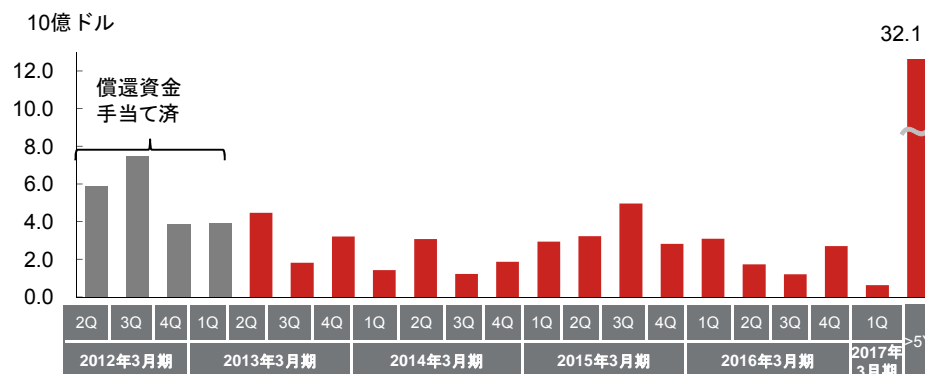
流動性と資金調達 — 債務プロフィール

- 分散化は資金調達戦略の主要な要素
- 国内中心の資金調達となっているが調達手段は分散化
- 長期負債の平均残存年数（1年以内償還長期負債含む）は6年超

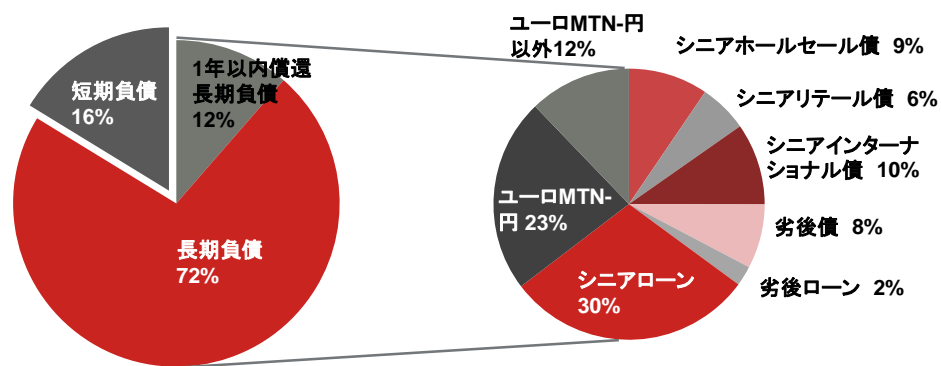
長期調達



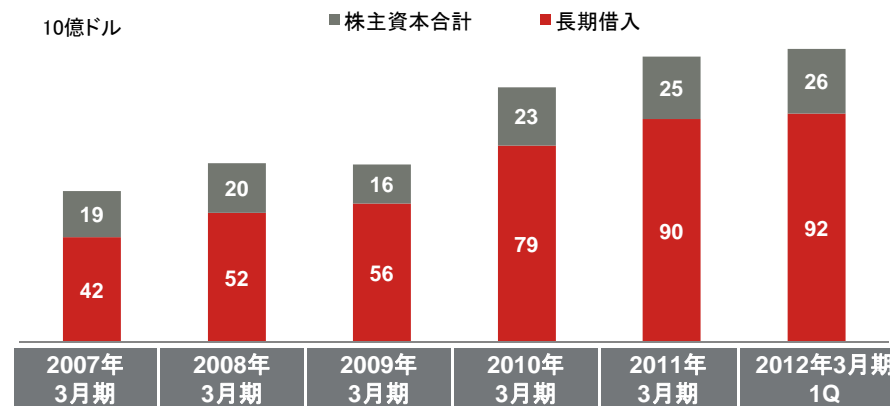
スムーズな長期負債償還期限分布²



アンセキュアードファンディング詳細¹



長期資本(長期負債および資本)は増加^{1,3}



1. 流動性管理の観点に基づくもので財務諸表の定義と異なる。契約期限に基づく
2. 償還スケジュールはストレスシナリオでの早期償還確率を織込む
3. VIE社債と野村土地建物の長期負債は除く

参考資料

グローバル・リーチ

■ グローバルな体制を構築

Americas

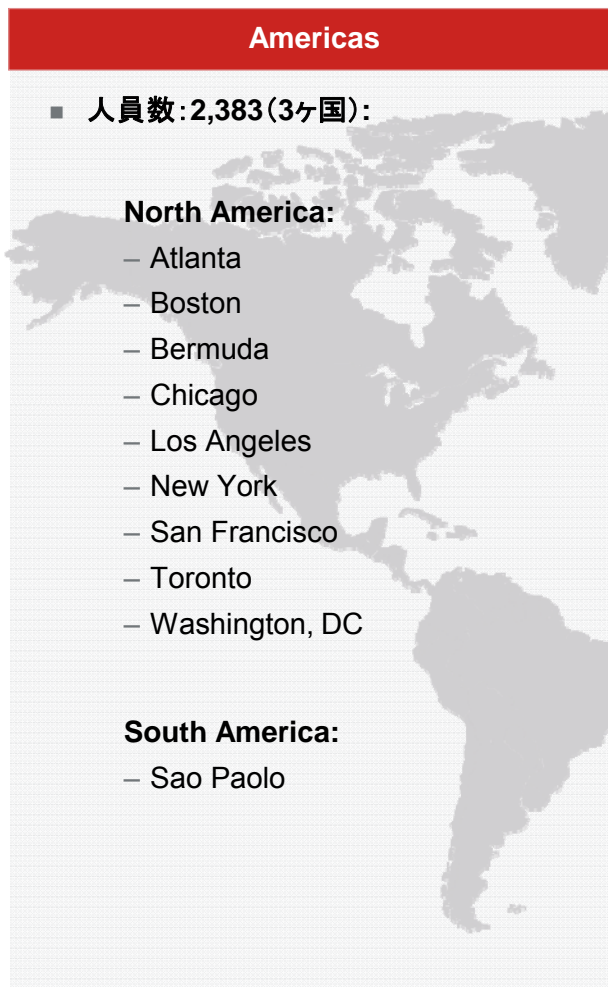
■ 人員数: 2,383 (3ヶ国):

North America:

- Atlanta
- Boston
- Bermuda
- Chicago
- Los Angeles
- New York
- San Francisco
- Toronto
- Washington, DC

South America:

- Sao Paolo



Europe & Middle East

■ 人員数: 4,436 (18ヶ国):

Europe:

- Amsterdam
- Budapest
- Frankfurt
- Geneva
- Istanbul
- London
- Luxembourg
- Madrid
- Milan
- Moscow
- Paris
- Rome
- Stockholm
- Umea
- Vienna
- Warsaw
- Zurich

Middle East:

- Bahrain
- Doha
- Dubai
- Riyadh



Asia-Pacific

■ 人員数: 28,811 (12ヶ国):

Asia ex-Japan:

- Bangkok
- Beijing
- Hanoi
- Hong Kong
- Jakarta
- Kuala Lumpur
- Manila
- Melbourne
- Mumbai
- Powai
- Seoul
- Shanghai
- Singapore
- Sydney
- Taipei

Japan:

- 22,359 employees
- 175 branches countrywide
- Tokyo headquarters



1. 人員数は2011年6月30日現在
 2. 上記はグローバル体制全てを表しているわけではありません

バランス・シート関連データ

連結貸借対照表

| | (単位: 百万円) | | | (単位: 百万円) | | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|--------------------|-----------|---|--------------------|------------|-----------|
| | 2012年3月期 第1四半期 (2011.6.30) | 前 期 (2011.3.31) | 前期比増減 | 2012年3月期 第1四半期 (2011.6.30) | 前 期 (2011.3.31) | 前期比増減 | |
| 資産 | | | | | | | |
| 現金・預金: | | | | | | | |
| 現金および現金同等物 | 692,812 | 1,620,340 | △ 927,528 | | | | |
| 定期預金 | 466,491 | 339,419 | 127,072 | | | | |
| 取引所預託金およびその他の顧客分別金 | 229,158 | 190,694 | 38,464 | | | | |
| 計 | 1,388,461 | 2,150,453 | △ 761,992 | | | | |
| 貸付金および受取債権: | | | | | | | |
| 貸付金 | 1,296,586 | 1,271,284 | 25,302 | | | | |
| 顧客に対する受取債権 | 49,404 | 32,772 | 16,632 | | | | |
| 顧客以外に対する受取債権 | 1,287,391 | 928,626 | 358,765 | | | | |
| 貸倒引当金 | △ 4,953 | △ 4,860 | △ 93 | | | | |
| 計 | 2,628,428 | 2,227,822 | 400,606 | | | | |
| 担保付契約: | | | | | | | |
| 売戻条件付買入有価証券 | 9,347,210 | 9,558,617 | △ 211,407 | | | | |
| 借入有価証券担保金 | 5,962,298 | 5,597,701 | 364,597 | | | | |
| 計 | 15,309,508 | 15,156,318 | 153,190 | | | | |
| トレーディング資産およびプライベート・エクイティ投資: | | | | | | | |
| トレーディング資産※ | 16,325,461 | 14,952,511 | 1,372,950 | | | | |
| プライベート・エクイティ投資 | 280,056 | 289,420 | △ 9,364 | | | | |
| 計 | 16,605,517 | 15,241,931 | 1,363,586 | | | | |
| その他の資産: | | | | | | | |
| 建物、土地、器具備品および設備 | | | | | | | |
| (2011年6月30日現在 336,928 百万円、 | | | | | | | |
| 2011年3月31日現在 300,075 百万円の減価償却累計額控除後) | 1,086,945 | 392,036 | 694,909 | | | | |
| トレーディング目的以外の負債証券※ | 853,630 | 591,797 | 261,833 | | | | |
| 投資持分証券※ | 83,778 | 91,035 | △ 7,257 | | | | |
| 関連会社に対する投資および貸付金※ | 204,221 | 273,105 | △ 68,884 | | | | |
| その他 | 1,552,591 | 568,493 | 984,098 | | | | |
| 計 | 3,781,165 | 1,916,466 | 1,864,699 | | | | |
| 資産合計 | 39,713,079 | 36,692,990 | 3,020,089 | | | | |
| ※担保差入有価証券を含む | | | | | | | |
| | | | | 負債および資本 | | | |
| | | | | 短期借入 | 1,090,401 | 1,167,077 | △ 76,676 |
| | | | | 支払債務および受入預金: | | | |
| | | | | 顧客に対する支払債務 | 804,318 | 880,429 | △ 76,111 |
| | | | | 顧客以外に対する支払債務 | 402,074 | 410,679 | △ 8,605 |
| | | | | 受入銀行預金 | 885,724 | 812,500 | 73,224 |
| | | | | 計 | 2,092,116 | 2,103,608 | △ 11,492 |
| | | | | 担保付調達: | | | |
| | | | | 買戻条件付売却有価証券 | 12,882,890 | 10,813,797 | 2,069,093 |
| | | | | 貸付有価証券担保金 | 1,895,381 | 1,710,191 | 185,190 |
| | | | | その他の担保付借入 | 1,219,955 | 1,162,450 | 57,505 |
| | | | | 計 | 15,998,226 | 13,686,438 | 2,311,788 |
| | | | | トレーディング負債 | 7,787,591 | 8,688,998 | △ 901,407 |
| | | | | その他の負債 | 1,064,095 | 552,316 | 511,779 |
| | | | | 長期借入 | 9,265,506 | 8,402,917 | 862,589 |
| | | | | 負債合計 | 37,297,935 | 34,601,354 | 2,696,581 |
| | | | | 資本 | | | |
| | | | | 野村ホールディングス株主資本: | | | |
| | | | | 資本金 | | | |
| | | | | 授權株式数 - 6,000,000,000株 | | | |
| | | | | 発行済株式数 - 2011年6月30日現在 3,719,133,241株 | | | |
| | | | | 2011年3月31日現在 3,719,133,241株 | | | |
| | | | | 発行済株式数 | | | |
| | | | | (自己株式控除後) - 2011年6月30日現在 3,603,246,292株 | | | |
| | | | | 2011年3月31日現在 3,600,886,932株 | 594,493 | 594,493 | - |
| | | | | 資本剰余金 | 648,582 | 646,315 | 2,267 |
| | | | | 利益剰余金 | 1,087,105 | 1,069,334 | 17,771 |
| | | | | 累積的その他の包括損益 | △ 133,975 | △ 129,696 | △ 4,279 |
| | | | | 計 | 2,196,205 | 2,180,446 | 15,759 |
| | | | | 自己株式(取得価額) | | | |
| | | | | 自己株式数 - 2011年6月30日現在 115,886,949株 | | | |
| | | | | 2011年3月31日現在 118,246,309株 | △ 94,538 | △ 97,692 | 3,154 |
| | | | | 野村ホールディングス株主資本合計 | 2,101,667 | 2,082,754 | 18,913 |
| | | | | 非支配持分 | 313,477 | 8,882 | 304,595 |
| | | | | 資本合計 | 2,415,144 | 2,091,636 | 323,508 |
| | | | | 負債および資本合計 | 39,713,079 | 36,692,990 | 3,020,089 |

連結損益

(単位:10億円)

| | 2007年 3月期 | 2008年 3月期 | 2009年 3月期 | 2010年 3月期 | 2011年 3月期 | 2011年3月期 | | | | 2012年3月期 |
|----------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------|-------|-------|-------|----------|
| | | | | | | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q |
| 収益 | | | | | | | | | | |
| 委託・投信募集手数料 | 337.5 | 404.7 | 306.8 | 395.1 | 405.5 | 118.1 | 83.5 | 100.0 | 103.8 | 96.8 |
| 投資銀行業務手数料 | 99.3 | 85.1 | 55.0 | 121.3 | 107.0 | 20.4 | 24.9 | 34.0 | 27.8 | 13.8 |
| アセットマネジメント業務手数料 | 146.0 | 189.7 | 140.2 | 132.2 | 143.9 | 34.9 | 33.7 | 37.1 | 38.3 | 39.1 |
| トレーディング損益 | 290.0 | 61.7 | -128.3 | 417.4 | 336.5 | 60.0 | 103.0 | 104.9 | 68.7 | 67.5 |
| プライベート・エクイティ投資関連損益 | 47.6 | 76.5 | -54.8 | 11.9 | 19.3 | -0.9 | -1.0 | -2.4 | 23.6 | -6.0 |
| 金融収益 | 981.3 | 796.5 | 331.4 | 235.3 | 346.1 | 75.8 | 70.0 | 106.9 | 93.5 | 133.1 |
| 投資持分証券関連損益 | -20.1 | -48.7 | -25.5 | 6.0 | -16.7 | -10.3 | -5.7 | 2.1 | -2.8 | -0.6 |
| プライベート・エクイティ投資先企業売上高 | 100.1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| その他 | 67.4 | 28.2 | 39.9 | 37.5 | 43.9 | 16.3 | 12.0 | 3.4 | 12.2 | 83.4 |
| 収益合計 | 2,049.1 | 1,593.7 | 664.5 | 1,356.8 | 1,385.5 | 314.0 | 320.4 | 386.0 | 365.0 | 427.0 |
| 金融費用 | 958.0 | 806.5 | 351.9 | 205.9 | 254.8 | 54.2 | 44.8 | 90.2 | 65.6 | 96.6 |
| 収益合計(金融費用控除後) | 1,091.1 | 787.3 | 312.6 | 1,150.8 | 1,130.7 | 259.8 | 275.6 | 295.9 | 299.4 | 330.4 |
| 金融費用以外の費用 | 772.6 | 852.2 | 1,092.9 | 1,045.6 | 1,037.4 | 253.4 | 254.0 | 268.1 | 262.0 | 296.0 |
| 税引前当期純利益(損失) | 318.5 | -64.9 | -780.3 | 105.2 | 93.3 | 6.5 | 21.6 | 27.8 | 37.4 | 34.4 |
| 野村ホールディングス株主に帰属する当期純利益(損失) | 175.8 | -67.8 | -708.2 | 67.8 | 28.7 | 2.3 | 1.1 | 13.4 | 11.9 | 17.8 |

注:当期の開示様式に合わせて過年度の数値を組み替えて表示

格付

| 2011年6月30日現在 | S&P | Moody's | Rating and Investment Information | Japan Credit Rating Agency |
|---|--------|---------|-----------------------------------|----------------------------|
| Nomura Holdings Inc. | | | | |
| Long-term | BBB+ | Baa2 | A+ | AA- |
| Short-term | A-2 | - | a-1 | - |
| Outlook | Stable | Stable | Stable | Stable |
| Nomura Securities Co., Ltd | | | | |
| Long-term | A- | Baa1 | A+ | AA- |
| Short-term | A-2 | P-2 | a-1 | - |
| Outlook | Stable | Stable | Stable | Stable |
| The Nomura Trust & Banking Co., Ltd. | | | | |
| Long-term | A- | - | - | AA- |
| Short-term | A-2 | - | a-1 | - |
| Outlook | Stable | - | - | Stable |
| Nomura Bank International plc | | | | |
| Long-term | A- | - | - | AA- |
| Short-term | A-2 | - | - | - |
| Outlook | Stable | - | - | Stable |